▼タイトル▼

助動詞　発展

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

It’s no use talking to John. You might just ［　　　］ talk to a brick wall.  
  
（上智大）

▼選択肢▼

① have to

T② as well

③ better than

④ like to

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「ジョンに話しても無駄である。レンガの壁に話しかけているのようなものだ。」  
may[might] (just) as well do「～したほうがいい／～するようなものだ／～するほうがましだ」は助動詞を使った慣用表現。wellのあとに動詞の原形がくることに注意。また、後ろにas doをつづけてmay[might] (just) as well do～ as do...「…するより～するほうがいい」とする場合もある。  
It is no use doing「～しても無駄だ」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

A: How ［　　　］ you insult me!  
B: Sorry, I didn’t mean to. Would you forgive me?  
  
（専修大）

▼選択肢▼

T① dare

② shall

③ may

④ need

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】

A：よくも私を侮辱してくれたな！  
B：すみません、そういうつもりじゃなかったんです。許していただけませんか。  
How dare S do? は「よくも～できるな」という意味。助動詞dareは、原則として**否定文**または**疑問文**で使われる。  
dare not do～「～する勇気がない」  
Dare S do～ ?「Sは～する勇気がありますか」  
本問のように、感嘆符を使ってHow dare ～ !「よくもまあ（図々しくも）～！」とすることもある。

▼問題文▼

文法・語法上の誤りのある箇所を１つ選びなさい。

▼小問▼

①Before, mother of three Karin Beese ②used to wondering about her family’s personal contribution to climate change. When she heard about a project ③inviting 100 Berlin households to try and get their annual carbon dioxide emissions to 40 percent ④below the German average, she saw it as the perfect opportunity to take action.  
  
（中央大）

▼選択肢▼

①

T②

③

④

▼解説▼

解答：② → used to wonder  
【設問の解説】  
「以前、三児の母カリン・ベーゼは気候変動に対して自分の家族がじかに貢献できないかと考えていた。ベルリンの100世帯を募集して、年間の二酸化炭素排出量をドイツの平均以下の40％に抑えようというプロジェクトの話を耳にしたとき、彼女はそれが行動を起こすのに絶好の機会だと考えた。」  
「（以前は）よく～したものだ」と過去の習慣を表すときはused to doを使う。used toの形を含む表現には、区別が紛らわしいものがあるので注意しよう。  
used to do「（以前は）よく～したものだった／（以前は）～だった（が、今はちがう）」→助動詞  
be used to doing「～することに慣れている」→このusedは形容詞  
be used to do「～するために使われる」→不定詞の副詞的用法を使った受動態の文

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

Mary would rather throw the money away than ［　　　］ it to him.  
  
（－）

▼選択肢▼

① to give

T② give

③ given

④ have given

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】

「メアリーは彼にお金をあげるくらいなら捨ててしまいたいと思っている。」  
would rather do～ than do... で「…するよりも（むしろ）～したい／…するくらいなら～したほうがましだ」という意味。ratherのあと、とくにthanのあとに動詞の原形がつづくことに注意。